

2020 年度事業報告

1. 言語力向上に関する事業

(1) 制度・政策活動

①「活字の学びを考える懇談会」設立・運営

2020年6月11日、衆議院議員会館にて第1回会合を開き、『GIGAスクール構想』と活字の学びについて」をテーマに文部科学省の芦立訓審議官が講演を行った。会長に阿刀田高さん、委員には日本新聞協会会長の山口寿一さんらが就任した。

◇「活字の学びを考える懇談会」荒川区立第三中学校視察

2020年12月18日、阿刀田会長、顧問・河村建夫議員ほか数名の委員らが東京都荒川区立第三中学校を訪問。書籍とICTを活用した授業を視察した。

◇リレー講演「学校教育のデジタル化・子どもの未来」開催



2021年3月16日に衆議院議員会館にて国立病院機構 久里浜医療センター院長の樋口進さん、東北大学教授同加齢医学研究所所長川島隆太さん、阿刀田会長が講演を行った。細田議員、河村議員、笠議員が挨拶し、新聞協会会長の山口寿一さんと日本書店商業組合連合会会長の矢幡秀治さんがそれぞれの立場から「紙の文化とデジタル」について発言した。開催後に講演録を発行し、文字・活字文化推進機構のホームページでも公開している。

②読書バリアフリー法の具現化

◇冊子「読書のバリアフリーQ&A」の発行



2019年6月に施行された「視覚障害者等の読書環境の整備に関する法律」（読書バリアフリー法）の具現化と普及を目的とした冊子を発行。行政、教育現場、図書館界、新聞界、出版界など広く社会の理解を求めることを目的に、2020年12月中旬に全国の公共・学校図書館、大学図書館、教育委員会、特別支援学校などに配布した。

◇シンポジウム「読書バリアフリーと図書館の役割～誰もが読める環境づくり」

（文部科学省受託事業）の開催

2021年2月13日（土） 会場：練馬区立区民・産業プラザ



文部科学省総合教育政策局地域学習推進課長横井理夫さんによる報告、アブディン モハメドさん（参天製薬株式会社）による基調講演「めざそう！みんなに開かれた読書環境を」、シンポジウム「ひろげよう、障害者の読書環境づくり」

はパネリストには神山忠さん（元岐阜特別支援学校地域支援センター長）、野口由紀子さん（市川市立中学校教諭）が登壇。坂本康久さん（オーテピア高知声と点字の図書館館長）はオンラインで参加した。コーディネーターは宇野和博さん（筑波大学附属視覚特別支援学校教諭）。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から無観客開催とし、「バリアフリー図書館の紹介動画」と共に文字・活字文化推進機構のホームページにて収録映像の配信を行っている。また、ニュースレターを発行し、都道府県立図書館や全国の教育委員会に配布した。

(2) 言語活動の基盤整備のための事業

①本に親しむ子育て支援事業

読書・手伝い・外遊びは言葉の獲得、社会ルールの習得、自己肯定感の育成など、子供の成長にとって欠かせないものである。それらを体感してもらう「読書・手伝い・外遊び推進事業」として、読書の魅力を伝えるライブステージやワークショップ

のイベント「やってみよう！読書・手伝い・外遊びフェスタ」を大阪と宮城の2会場で開催。また、「読書・手伝い・外遊び」の重要性を伝える冊子や動画も制作した。

◇やってみよう！読書・手伝い・外遊びフェスタ in 大阪

2020年11月28日（土） 会場：TKP ガーデンシティ大阪リバーサイドホテル



ミュージック・ユニットのケロポンズによるライブステージと、手伝い・外遊びに関連したワークショップを開催した。子供たちは山遊び体験やエコバッグ作り、折り紙箸置き作りなどのワークショップに目を輝かせていた。

◇やってみよう！読書・手伝い・外遊びフェスタ in 宮城

2020年12月13日（日） 会場：フォレスト仙台



あそび歌作家鈴木翼さんのライブステージと、外遊び、工作などのワークショップを展開した。自然素材を使った工作、おでかけを楽しむ切り絵、達成感を感じることができるお掃除体験などのワークショップを実施した。

◇やってみよう！読書・手伝い・外遊び 動画

発達心理学者で保育の専門家の内田伸子さん監修のもと、「読書・手伝い・外遊び」の効果的な実践方法や、朗読指導者養成講座第一期生の橋本恵子さんによる読み聞かせ方法を紹介する動画を制作した。

◇やってみよう！読書・手伝い・外遊び 冊子

読書・手伝い・外遊びの重要性を伝える冊子2冊を発行し、全国の図書館等に配布した。

・『まなぶっく』

スポーツ選手や絵本作家等の著名人、心理学や脳科学の研究者へのインタビュー、国立青少年教育振興機構の調査データを掲載した。

- ・『あそぶっく』

子供と大人で遊びながら「読書・手伝い・外遊び」を体験できるコンテンツを掲載した。

2. 人材育成・能力開発に関する事業

(1) 読書推進のための活動

① 子供の読書活動推進事業

読書活動の大切さを伝える講演会やシンポジウム、図書館を使った体験活動のノウハウを伝えるワークショップなどを全国4か所で開催した。

◇「読書が与えてくれるもの」

2020年8月16日(日) 会場：よみうり大手町ホール



第1部は作家・浅田次郎さんの講演「読書のすすめ」、第2部は「読書で磨かれる力」と題したシンポジウムを行った。日本テレビアナウンサーの榎太一さんをコーディネーターに、作家の角田光代さん、東北大学加齢医学研究所所長の川島隆太さん、お笑い芸人の笑い飯・哲夫さんにそれぞれの読書に対する思いを語っていただいた。

※期間限定で収録映像のYoutube 配信を行った。

◇「図書館の新たな可能性」

2020年9月26日(土) 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター



作家・浅田次郎さんによる「読むこと書くこと 生きること」と題して、早稲田大学教授・片山善博さんは「これからの図書館」と題して講演を行った。続いて、「図書館とボードゲーム」(講師：井上奈智さん)、「図書館とビブリオバトル」(講師：益井博史さん)、「本を届ける新しい方法」(講師：幅允孝さん)の各分科会を開催した。

◇「言葉と心を育てる読書」

2020年11月1日（日） 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター



オープニング「私と読書」では、俳優の上白石萌音さんが登場。朗読と、ご自身の読書に対する熱い想いを披露していただいた。続いて、お茶の水女子大学名誉教授の内田伸子さんによる「AIに負けない読書力」では発達心理学の視点からの読書の効用などについての講演があった。第3部の

シンポジウム「子供の言葉を育てる」は、ノンフィクション作家・柳田邦男さん、作家・辻村深月さん、コラムニスト・ひきたよしあきさんがパネリストとして内田伸子さんがコーディネーターとして登壇し、子供の成長段階に応じた読書活動について語り合った。

※「AIに負けない読書力」の収録映像は期間限定でYoutube 配信を行った。

◇「広げよう、子供の読書環境づくり」

2021年1月30日（土） 会場：生駒市図書館



第一部では安藤忠雄さんによる講演「本を読む—豊かな創造力を育む—」を行った。第二部では図書館と地域をむすぶ協議会コーディネーターの太田剛さん、奈良県生駒市長の小紫雅史さん、愛知県一宮市長の中野正康さんらをパネリストとして迎え、コーディネーターの放送大学客員教授堀川照代さんの

進行のもと、「子供たちの読書環境を整える」をテーマにシンポジウムを行った。

②ビジネスパーソン、学生の読書応援シンポジウム

日経・文字活字シンポジウム「ウィズコロナを生きる 読書から学ぶ知恵」

日本経済新聞社との共催。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、オンラインにて開催した。「ウィズコロナを生きる 読書から学ぶ知恵」と題し、ドイツ在住の作家・多和田葉子さんと札幌在住の作家・池澤夏樹さんならびに東京のコーディネーターの三元中継を事前収録し、2020年10月9日に公開した。コロナ禍が変えた日常生活や読書の楽しみ方などを語っていただいた。

(2) 言語活動・読書推進リーダーの育成

①山根基世の朗読指導者養成講座



アナウンサー・山根基世さんを講師に、朗読を通して地域のつながりや子どもの言葉を育てる活動の核になる朗読指導者の育成を目的とした講座。第6期目となる今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、開講を中止した。また、同じく中止となった第5期の「やまねこ朗読発表会」を、2021年3月21日に国立オリンピック記念青少年総合センターにて有志のみで開催した。

3. 情報提供・広報活動に関する事業

(1) 広報活動

①高校生書評合戦（ビブリオバトル）東京都大会

2020年11月3日 会場：東京都教職員研修センター



新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をした上で、会場と各学校等をオンラインで繋ぎ開催した。厳しい予選を通過した89名の高校生が集い、会場、オンライン双方で「読みたくなった本」に投票。今年のチャンプ本には『残像に口紅を』（筒井康隆著）が選ばれた。

(2) 情報提供

①ホームページの充実

催事の収録映像の配信や、発行物のデータ公開などを行った。